



令和も6年となりました

令和5年度 名古屋道德教育研究会会長 名古屋市立南陵小学校 加藤英樹

令和6年となりました。今回の名道研だよりは66号です。道徳が「特別の教科」として新たな船出をして小学校では6年が過ぎようとしています。「6」が多いこのたよりは、「6」にまつわる道徳の話題を提供したいと思います。

6年前は教科化前年の平成29年度でした。翌年から教科になる道徳について「どう進めたらいいの?」「評価はどうするの?」という不安まじりの声がたくさん聞かれました。それが6年(中学校では5年)の時の経過とともに、どの学校でも授業・評価ともに安定して実施され、不安な声はほとんど聞かれなくなりました。研究会としては、今後も皆さんの道徳授業・道徳教育のさらなる発展に向けて、様々な情報提供や授業づくりのお手伝いができればと考えております。

一方で、「6倍」ほどになっているのではないかとと思われる数字があります。それは、名古屋市道德研究会に参加する若手教員の方の人数です。6倍は多少大袈裟ですが、2つの部会が6つの小班に分かれて学習会をしています。教科化以前は数人での学習会という活動日もあったのですが、今では部会の部屋に入りきれないほど参加者であふれています。

道徳授業にはまだまだ工夫の余地が多くあり、自由度も比較的高いので「何か教師としての学びを得よう」と考える若手の先生方が多いのでしょうか。確かに道徳授業の上達は教科の授業力の向上に必ず寄与します。道徳授業は児童生徒が「考えをもち、語り合い、聴き合い、自分で考え、みんなと考え、自分自身のあり方・納得解をつくり上げていく」という6つが授業のベース(基盤)となります。教科の授業でもこのような授業にしたいと考える先生は多いと思います。道徳授業が安定的に実施されるようになり、その特性に気づかれたために道徳の授業づくりを学びに来る方が増えているのかと思います。

お気づきの方もいるかと思いますが上に記した道徳授業の6つのベースは、「ナゴヤ学びのコンパス」とも密接に関係しています。本会では次代を生きる子どもたちの育成を道徳教育の視点から見据え、今後も研究活動に取り組んでまいります。

## 令和5年度 名古屋市道德研究会 研究発表会 1月23日(火) ウィルあいちにて **盛会にて終了!**

**80**人を超える方にご参加いただきました。校務でご多忙の中、足を運んでご参加いただきありがとうございました。今年度は、5つのブースに分かれて、模擬授業形式での発表を行いました。以下に簡単にご紹介します。

教材の内容を捉えさせるのって難しい...

ブース① 中学年  
「教材を自然と読みたくなる導入の工夫」

『きゅうしゅつ大作戦』は誰が行うの?  
教材の題名や内容から興味を!

多様な性と自分らしさが認められる世界を目指して

ブース② 高学年  
自分とのかかわりをもつ工夫 紹介します

「ピンクのがいい!」  
聞こえてきたのは男性の声?女性の声?  
(出典) 公益社団法人 AC ジャパン

中学の道徳って、生徒指導になっちゃうんだよね...

ブース③ 中学生  
「生徒が興味をもつ工夫」 紹介します!

俳句「○○○られ 行きたし行けぬ 春の雨」  
「○に入る言葉は何ですか?」  
答え いじめ

子どもの表情がなんか暗いなあ。あっ、あの子、またあくびしてる...

ブース④ 低学年  
「子どもの目を輝かせる授業の工夫」 紹介します!

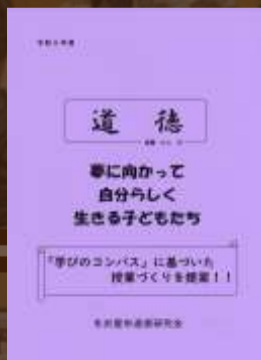
具体物を活用して  
役割演技で教材の場面を再現!

道徳科の授業って話合いがもり上がらないなあ...

ブース⑤ 中学年  
「自然と話合いが生まれる工夫」 紹介します!

☀️☁️☔️ 天気カードを活用した  
「なぜなぜタイム」で自然と話合い!

各校に配布しております『道徳 会報 No.19』にはさらに詳しく載っています。こちらのQRコードから会報の内容をご覧ください。



名古屋市道德研究会に興味をもたれた方がいらっしゃいましたら、南区 桜小 山部あゆ (IP電話71-3205) までご連絡ください。部員一同、共に学ぶことができることを楽しみにしております。